

授業科目名	老人福祉論 I	担当教員名	伊藤 幸子
必修/選択	選択	開講学年・学期	1年 前期 (年間開講数 1講座)
科目区分	社会福祉主任任用資格に関する科目	単位数	2単位 (30時間)
施行規則に定める科目区分等		授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 介護福祉士としての実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。
授業の概要及び全体目標	高齢者をとりまく諸問題から「介護保険制度」創設の背景、その仕組みやサービス体系などを学習し、高齢者福祉の課題について明らかにしていく。		
到達目標	<p>「介護保険制度」を中心に高齢者福祉に関する幅広い知識を学び、社会福祉の専門性を高めていく。</p> <p>(1)現代における老人福祉の社会的背景について理解する。  (2)現代社会における老人福祉の理念と目的について理解する。  (3)老人の福祉需要の把握方法について理解する。  (4)老人福祉、老人保健及び介護保険制度の概要とサービスの体系、内容について理解する。  (5)老人福祉に関連の法とサービスの体系と具体的内容について理解する。  (6)民間シルバーサービスの体系と具体的内容について理解する。  (7)老人に対する相談援助活動について理解する。</p>		
テキスト	高齢者福祉 / 全国社会福祉協議会/『社会福祉学習双書』編集委員会		
参考書・参考資料等	授業内容に沿って必要な資料を配布していく		
成績評価の方法	参加意欲20% / 受講態度20% / 定期試験40%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	講義の進め方、評価、シラバス概要説明 高齢者をとりまく社会的状況と生活実態		
第2回	高齢者の社会的理解 高齢期における生活の変化、高齢者と家族、 社会参加と生きがい		
第3回	高齢者を取り巻く諸問題 健康問題、介護問題、経済的問題、生活意識		
第4回	高齢者の身体的理解		
第5回	高齢者の精神的理解		
第6回	高齢者と疾病		
第7回	認知症の理解 (1)		
第8回	認知症の理解 (2)		
第9回	高齢者の医療の確保に関する法律		
第10回	少子高齢社会と社会的問題 少子高齢化、我が国の高齢化の特徴と課題		
第11回	高齢者保健福祉の起源と生成・発展		
第12回	老人福祉法の目的と理念、法の概要		
第13回	老人福祉施設、居宅サービス		
第14回	高齢者を取り巻く諸問題 健康問題、介護問題、経済的問題、生活意識		
第15回	まとめ		
定期試験	筆記試験		